

第6回

忘れられない

中国滞在エピソード

コンクール

2023年に第6回「忘れられない中国滞在エピソード」コンクールを開催します。誰かに教えたくくなるような現地でのとっておきのエピソード、学びと感動のストーリー、国境を越えた心のふれあい、驚くべき体験や新たな発見、心震わせる感動の物語、中国の奥深い魅力、不幸な歴史の記憶への共感等、日中相互理解の促進、両国のウィンウィン関係に寄与するポジティブエネルギーに満ちたオリジナリティーあふれる作品をお寄せ下さい。

受付期間 2023年5/1(月) - 5/31(水) 23:59まで必着

応募資格

●中国に行ったことのある全ての日本人(旅行経験だけの方、滞在中の方も歓迎)

●日中平和友好条約締結45周年記念特別テーマ

①「**シャンシャン、ありがとう**」

②日中「**次の45年**」への提言

中国滞在経験の有無に関わらず、全ての日本人が応募できます。

- 本文1900～2000字 ●最優秀賞(中国大使賞)1名 1等賞4名 2等賞10名 3等賞25名
 - 団体賞(10作品以上応募した団体に授与) ●表彰式ならびに出版記念会を開催※
 - 受賞作品集を刊行、副賞(最優秀賞賞金10万円など)はHP参照
- ※11月中国大使館にて開催予定(新型コロナウイルス感染拡大等の状況により変更の可能性がございます)



読売新聞

2022年11月18日(金)

●中国滞在記中ノ瀬さん最優秀

日中関係の書籍を出版する「日本僑報社」(東京都豊島区)が主催し、日本人を対象に中国での経験や思い出などを集めた作文コンクール「第5回忘れられない中国滞在エピソード」(読売新聞社など後援)の受賞作品が決まった。

最優秀賞の中国大使賞には、中国上海市在住の高校3年、中ノ瀬幸さん(18)が、同市のロックダウン(都市封鎖)中に自宅マンションの隣人に支えられた経験をまとめた「私は隔離生活を通して成長しました」が選ばれた。

中ノ瀬さんは日本に一時帰国中で、17日に東京都港区の中国大使館を訪れ、孔欽佐駐日大使から表彰を受けた。中ノ瀬さんは「中国の人々の親切さに助けられた」と受賞を喜んだ。今回は15～87歳の男女225人から応募があり、約4割が10～30歳代の若者だった。受賞作をまとめた「驚きの連続だった中国滞在」は書店などで発売中。

受賞作品集シリーズ

シリーズトップ10入り!!

Amazonベストセラー〈中国の地理・地域研究〉

第2位 (2021.11)	第2位 (2021.3.26)	第2位 (2020.5.23 / 2019.12.2)	第8位 (2021.8.18)	第7位 (2017.12.27)
中国生活を支えた仲間	中国産の現場を訪ねて	中国で叶えた幸せ	心と心をつないだ餃子	忘れられない中国留学エピソード

最新刊



中国で叶えた幸せ 第2回「忘れられない中国滞在エピソード」受賞作品集

段園中編

日本僑報社 2500円

読売新聞

2019.12.1

早稲田大学の院生は回想する。彼女は小4から高校卒業まで大連に赴き留学した。中学で、歴史の授業で日中戦争を取り上げられると、中絶した同級生が悪口を言われたり、無言でたたりまわすようになった。2011年、高のとき、真で本大震災が起きた。彼女は学校赤い羽根の募金活動をした。日本のためには募金してくれたのだろうか? 結果は、上海日本人学校の校長とたはまは、87歳の老父を訪問する。中国語が全く分からないおじいちゃん(心)は、毎朝6時に電話して一人で行き出し、よく喋りになる。老人に中絶した。中国を離れるとき「おじいちゃん、おぼろげに漏らした一言が、胸を打つ」。

日本の私大で研究者としてのトランプに巻き込まれて大学を追われた教員は、再起の場を求めて中国の大会に就職する。学校の観劇会で京都にはまった福岡の高校生は、「目撃した殺者の舞台を見るため21歳で北京に留学する。このほか、オタク文化を中国人と熱く語り合った学生や、偏しな好意クイズで中国人との共同生活を成功させたシンガーソングライターなど、興味深いエピソードは数多い。

人の数だけ人生がある。あのまの中国も、人の数だけある。日本人と中国人のふれあいの多彩さに驚かされる1冊だ。



人々の数だけ人生がある

評・加藤 徹(中国文化学者、明治大学教授)

中国に行くとある日本人を対象とした作文コンクールの受賞作品集である。若者友友が持つ体験談はインフィクションだが、短編小説集のような味わいがある。

北京へ単身赴任した父が、一時帰国する。ひまわりの種をかり、豊言で中国語をつまみ、父の愛を伝へ、中学生の娘と手紙。その後、娘の反骨は家庭教師レベルまで悪化。父は帰国を決意する。時は流れた。結婚するから。あと、私、中国に行くことになった。上海勤務の縁をきり、夫と中国で暮らす。娘は昔の父の記憶が少しわかった気がした。



中国滞在エピソード友の会

中友会

揮毫: 福田康夫元総理

<http://duan.jp/cn/chuyukai.htm>

読売新聞 ● KYODO 朝日新聞 ● 毎日新聞 ● 東京新聞 ● 聖教新聞 ● 福井新聞 ● 中国新聞 ● 人民中国 ● NHK WORLD ● 西日本新聞 ● 福島民報 ● 四国新聞社 ● ONLINE NEWS ● Web 東奥 ● IWATE NIPPON ● 中国経済網 ● 中国新闻网 ● ほか 中国大使館や日中のメディア等で多数報道!

主催: 日本僑報社 東京都豊島区西池袋 3-17-15 Tel 03-5956-2808 Mail 45@duan.jp

後援: 中華人民共和国駐日本国大使館、読売新聞社、(公財)日中友好会館、(公社)日中友好協会、(一財)日中文化交流協会、日本国際貿易促進協会、(一財)日中経済協会、日中友好議員連盟、(一社)日中協会 ほか

応募要項、コンクールの詳細情報等はHPをご覧ください。 <http://duan.jp/cn/>

中国滞在エピソード 検索

